

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

募金箱について 大切なお知らせ

皆様の日頃のご支援・ご協力を感謝申し上げます。

各金融機関では**硬貨の預入手数料が設定**され、2022年からはゆうちょ銀行でも手数料が必要となります。ゆうちょ窓口では50枚を超えれば550円、ATMでは1枚でも110円必要になります(枚数が増えるほど手数料は高くなる)。例えば1円硬貨500枚をゆうちょ窓口で預け入れる場合、手数料は825円にもなります。皆様からの大切な募金を有効に用いさせていただくため、ハンガーゼロ募金箱・アクリル製募



これまでの赤と青の募金箱に代えて、手数料の注意書き入れた新募金箱を限定で用意しました

金箱等、**硬貨を伴う募金につきましてはお振込みいただくか、紙幣に換金の上お届け下さるようご協力をお願い致します。**硬貨募金は可能な限り今年中にお届け下さい。なお硬貨募金の受付は2022年中に終了することも検討中です。*ご質問は大阪事務所まで。



カレンダー好評発売中 「地球家族2022年版」

支援地域の環境や生活のコマを取り上げました。そこに暮らす人々が毎日飢えることなく食べ、安全で平和な中で暮らしができるようにとの願いを込めて作成しています。

A4サイズ(使用時はA3サイズ 高420mm×巾297mm)。

1冊1,100円(税、送料込) 国内へのお届けに限りです。

4冊まではレターパック等、5冊以上は宅急便でお届け。(北海道、沖縄は1荷物あたり800円加算)

【お支払い】

後払い

お申し込み:

(株)キングダムビジネス

スマートフォンは上記QRコードから
電話注文: 06-6755-4877

FAX注文: 06-6755-4888



各種手続きにお時間を いただいております

各事務所ではコロナウィルスの感染対策として、一部テレワークを継続しています。支援者様への電話対応・領収証の発行・支援申し込み手続きなどで、通常よりお時間をいただいております。ご理解のほどお願い申し上げます。

急ぎのご用件は、お電話でご相談ください。(事務局)

◆次の本紙11月号は「**年次報告号**」(2020年7月~2021年6月)となります。

ハンガーゼロ自販機で国際協力

飲み物を買うと1本につき10円がハンガーゼロに寄付されます。また防災対応の自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水各96個が無償で提供されます。現在、全国で109台が稼働中です。



【2019-2020年度募金実績】3,256,838円
設置のご相談は東京・大阪事務所までどうぞ。

サポーターお申し込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	
申込日	年 月 日 NL 375号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFHサポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送ってください。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送ってください。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **5094** 口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧がざして募金)に変わりました。ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 (広島) 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



世界食料デーはコロナ禍にある途上国の人々の回復と自立への歩みを応援します



2021年世界食料デーが開幕!

Contents

ハンガーゼロ活動報告	P.2-3
コンゴ民主共和国を訪問/ジェロムスタッフ	P.2-3
2021年世界食料デー開催スケジュール	P.4-5
講演・現地報告ほか今年の動画を紹介	P.4-5
チャイルドサポーター	P.6-7
ルワンダ/サルヘシ集落活動報告	P.6-7

写真: 農業に取り組む人々の成果を現地で見聞きして喜ぶHOLCのジェロムスタッフ(中央青シャツ)

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

●Tポイントをを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,217,584ポイント(円)のご協力(12,399件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



プウェトでの成果が他地区にも波及

報告・ジェロム・カセバ HOLC 代表



2021年6月8日～7月10日にかけてHOLC支援地のプウェト、カレミ、ルブンバシ、キンシャサを訪問しました。コンゴ民主共和国においても新型コロナは猛威を振るっており、様々な制限があって訪問は容易ではありませんでしたが、HOLC（ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ）のスタッフも地元のパートナーも共に守られて訪問を終えることができました。リーダーのパメラと支援地の人々は家族を支えるために懸命に働いています。

ハンガーゼロ
活動地の
ウイズコロナ

プウェト

「私たちが彼らのようになりたいです」

支援中の6つのコミュニティでは武装グループによる襲撃もなく、農作業が順調に行われて、今年はピーナッツを90kg入り計42袋収穫することができました。農業が家族の食料確保に大きな役割を果たしています。グループの人々の働き方にとっても満足している地方政府のリーダーが、私たちHOLCに、



ピーナッツの収穫（プウェト）

同じ考え方をプウェトの他の地域にも広めるようにすすめました。さらに3つのコミュニティが参加する予定で、人々に「なぜこのグループに加わりたのですか」と尋ねました。「彼ら

の暮らしが良くなっているので、わたしたちもそうなりたいたいです」という答えが返ってきました。他の村の人たちがパメラのグループの変化に気づいて、彼らのようになりたいと思うようになることは、プウェトだけではなくコンゴ全体に良い影響を与えるはずで、私たちにとって大きな励みとなります。

【家畜の飼育】 ヤギを所有しているコミュニティはルブアのみでしたが、他の3コミュニティも参加して現在計28頭のヤギを飼育しています。



家畜の飼育（プウェト・ルブア）

カレミ

農業再開で村人と国内避難民が結束

ピグミー族とバントウ族の間で対立が続いていた2019年に私たちの話を聞いてくれた村長と今回会い、ピグミーとバントウの国内避難民の両方でできるだけ早く農業活動を始めるように勧めました。村の集会で私たちは、平和と和解なしに持続可能な開発や復興について語ることはできないことを話しました。そして考え方の変革について説明し、すべての国内避難民と村人に、お互いに戦うのではなく、平和についてもっと考えるようにすすめました。その結果いくつかの提案がなされました。

- 農業活動をできるだけ早く開始する
- 家畜（小動物）の飼育

国内避難民と村人は、これが彼らの発展と自立を可能にする唯一の方法であり、一緒に働き始めてお互いに話し合うこ



孤児院の給食プログラム（キンシャサ）



HOLCのスタッフ（後列）とカレミのピグミー族

とで分かり合い、結束することができるだろうと話しました。集会の最後には、2021年9月から農業活動を開始することが決定されました。カレミでは9月から3月の雨季にはピーナッツやメイズ、キャッサバなどを育てることができます。私たちは彼らを励まし、9月にプロジェクトを始めるために再訪問すると約束しました。

キンシャサ、ルブンバシ

食料価格急騰で給食支援が役割を果たす

新型コロナ感染拡大中にもかかわらず、キンシャサとルブンバシでの給食プログラムは順調に行われています。孤児たちは全員守られて、これまでの支援をみんなとても喜んでいました。コンゴ国内の食料価格がほぼ2倍になっている中で、孤児院ではハンガーゼロが食料を支援してくれたことを感謝していました。私たちの支援は孤児たちが安全な場所で守られて、ストリートチルドレンになるのを防ぐ役割を果たしています。

地方政府からの期待

昨年プウェトの地方政府がHOLCを含む現地NGOと協力することを決定した時、私はコンゴにいなかったので、今回プウェトの訪問中にプウェトの地方政府のトップに招かれて私たちの活動に満足していることを伝えられました。プウェトの地方政府は、HOLCが様々な村の人々に、他者を頼るのではなく自立することを継続して教えるトレーニングすることを望んでいます。地元のリーダーである彼は私たちの活動を知っているので、地域の他の場所でも同じことを進めるように頼みました。彼は「農業、漁業、家畜に焦点を当てることによって人々が食料安全保障の問題に取り組み、自給自足できるようになることを望んでいる」と私に話し、地方政府がHOLCに対して以下の支援をすと述べました。

- プウェト領土内で訓練のために移動する許可書
- プウェトの中のセキュリティと保護
- プウェトから他の村への移動手段（車両）

彼は、地元のNGOと協力して国民が直面している問題に実際に対応する方法を考えているリーダーの1人です。説明会で私は、地方政府は国内避難民と村人を彼らの農業活動に戻すようにすべきだと話しました。ほとんどの国内避難民と村人は、条件が良ければ以前の活動に戻ることができるでしょう。

今後の課題

コンゴのような国では、集団での活動によって生計を立て人々の結束を図ることは、国内避難民とコンゴの農村コミュニティの回復力を高め彼らの村への帰還を促進する上でも重要です。

そのためには誰を支援するかについて地方政府と十分に話し合う必要があります。食料や現金を支援することは、人々がそれに依存し続け、将来的に深刻な食料不足に直面するようになる可能性があります。地方政府は、人々に地域の結束を促すような農業や漁業や活動に従事するよう奨励すべきです。

2019年に支援をはじめ、国内避難民が現在暮らしているルブンクウェ村では、過去2年間部族間での争いや紛争はなく、村に戻った人々の間には平和があることを知って私たちは満足しています。2021年9月から農業活動への道を開こうとしているカレミのピグミー族とバントウ族のコミュニティも結束し、持続可能な結果を生み出すことでしょ。

プウェトで新しく形成されたコミュニティは組織に対する理解が深まり、集会や貯蓄や社会的支援などが適切に行われています。また女性が集会に出席して地域社会の変革に加担しているのを見て励まされました。プウェトの一部のコミュニティでは女性のメンバーは男性より活発で声高でした。このため地域の

人々に、女性が地域社会に十分貢献できるように最大限の時間と機会を与えるようにすすめました。



プウェト・チャンフグ村の女性たち

最後になりましたが、道路事情が悪いためプウェトへのバスはなくなり、橋が雨で流されたので今後の訪問はランドクルーザーを借りなければ困難になります。

■ コンゴでの活動を応援するためには…

「ハンガーゼロサポーター」となって、HOLCやジェロムスタッフの応援をぜひお願いします。本紙最終面の案内やウェブサイトから1口千円から支援ができます。



Hunger Zero

コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右QRコードから郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記
募金集計：2021年9月13日現在で約1,201万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに



ハンガーゼロは、「世界食料デー大会」の主催者や募金に協力してくださる方々に、講演や現地報告等の動画を制作しました。動画は大会やオンラインで上映されるほか、10月1日からハンガーゼロ YouTube チャンネルでも公開いたします。世界の貧困・飢餓問題や現地スタッフの報告を視聴していただき「あなたの1食募金運動」にご協力をお願いいたします。右の表は各地で開催する世界食料デー大会日程です。日程表のQRコードをスマホでかざすと、開催概要の確認や配信の参加申込等ができます。共に世界食料デーに参加して、コロナ禍で飢餓・貧困のある人々を思いまた応援をしていきましょう。

動画のサムネール▶▶



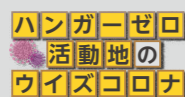
◆ 世界食料デーテーマ動画 【5分】

若手スタッフが制作。斬新でアップテンポな映像で構成しました。コロナ禍にある今、想像力を働かせて、世界と私たちとの繋がりに想いを向けてみましょう。まず最初にみていただきたい動画です。テーマソング「ZEROになるまで」はスタッフのオリジナル作品で演奏もしています。



◆ 講演動画 【22分】

講師：田村治郎
新型コロナウイルスによって、大きな影響を受けている途上国の飢餓・貧困の現状を具体的に学ぶことができます。私たちの日常を見つめ直し、一人一人がどのような行動を起こしていくべきか、考えてみましょう。



◆ フィリピン報告動画 【14分】

酒井保・慶子 フィリピン駐在スタッフ
ハンズ・オブ・ラブ・フィリピンの活動報告。新型コロナウイルスの影響、活動で大切にしているこ



と、今後の展望など、映像や写真で説明します。自立開発支援ってなに？ 何を目指しどんな課題があるの？ そんな疑問に答えます。



◆ コンゴ報告動画 【14分】

ジェロム・カセバ コンゴ民主駐在スタッフ
現地のハンズ・オブ・ラブ・コンゴの活動や今後の課題などについて報告します。紛争が続くコンゴ民主共和国の人々の自立と和解に向けての取り組みは必見です。※英語音声・日本語字幕あり 英語の勉強にもなります！



◆ ボリビア報告動画 【9分】

小西小百合 ボリビア駐在スタッフ
コロナ禍にあるボリビアで、ボリビアの方々自らが何を始めたのか報告します。また「人づくり」の働きを通して、サポートを受けた子どもたちが成長して、どのように地域社会に貢献する人になっていったかも紹介しています。

◆ クイズ動画 【10分】

子どもも大人も「世界食料デー」に取り組んでいただけるよう、世界の食料問題に関わる7問のクイズを出題しています。難しい時は動画を止めて、みんなでチャレンジしてみてください。かわいいキャラクターも要チェックです。

◆ その他

キリスト教会の日曜礼拝用の田村（牧師）の動画（24分）や教会学校用の子ども向け動画（7分）もあります。事務局までお問い合わせください。

2021年 世界食料デー大会開催スケジュール 【10/1 現在】

コロナ感染予防で各大会の運営方式が異なります。詳細はHPまたは世界食料デー事務局（TEL.03-3518-0781）までご確認ください。

地区	大会	事務局TEL	開催日	時間	主な内容	会場/運営方式/他/QRコード(詳細や参加申込ほか)	
北海道	札幌 【大会動画公開】 オンライン及びDVD版の提供	090-9433-0493 (事務局長) 011683-5523 (事務局 札幌・札幌コミュニティ)	大会月間 10/1~ 10月末迄		大会挨拶：北星学園古川敬康理事長・学園長 講演：ハンガーゼロ田村治郎 道内での活動：フードバンク、弁当配布、子ども食堂 現地報告：コンゴ、フィリピン、ボリビア	Facebook「世界食料デー in Sapporo」 札幌大会のすべてを見ることができます。 https://www.facebook.com/hungerzero.hokkaido/?ref=pages_you_manage	
宮城	仙台 【ライブ配信有】	03-3518-0781	10/16(土)	13:30	講演：NPO いのちのパン代表 大友幸証師	①日本基督教団東北教区「エマオ」3F 会議室 ②塩釜聖書バプテスト教会 ③オンライン (Zoom視聴) ▼登録は仙台大会公式 HP から https://nm1543.wixsite.com/sendai-foodday/	
千葉北	千葉北 【ライブ配信有】	090-1707-0529	10/23(土)	14:00	現地報告：コンゴ民主/ジェロム・カセバ 講演：ハンガーゼロ近藤高史	アミュゼ柏プラザ ▼YouTube 配信のお申込みはこちら https://forms.gle/zCEwky9kfJrD12bDA ▼千葉北大会 HP はこちら https://shalom.pw/WorldFoodDay-ChibaNorthConvention/	
東京	Tokyo WFD +Gospel 【オンラインのみ】	03-3518-0781	11/20(土)	15:30	ゴスペルコンサート 現地報告の報告動画上映 問い合わせは下のメールからお願いします emi.info2020@gmail.com	オンライン (YouTube) 参加費：1,000円 ※参加申し込み方法は11月号に記載します。	
横浜	横浜 【オンライン有】	045-894-3500	10/17(日)	14:00	「ふれあいフェスティバル」にてブース出展	JR 本郷台駅前広場 ・エントリー料：1人1000円 ・各自で所定の距離を走り(歩きもOK)、タイムを提出 ・2キロ部門はタイムを送る代わりに道すがらの写真や川柳を送る形でもOK ・専用 Web サイト上で成績発表。 ▼エントリー・詳細は横浜大会 HP から https://www.wfd-yokohama.com/	
			9/19-11/7 【エントリー】 10/17-11/17 【タイム集計】			オンラインチャリティーマラソン 2km/5km/10kmコース 各男女	本郷台キリスト教会 チャペル ▼参加申込は横浜大会 HP から https://www.wfd-yokohama.com/ ※先着 50名・10月3日申込開始
			11/3(祝)	14:30	大和田広美チャリティーコンサート	滋賀大会実行委員会 ハンガーゼロ YouTube チャンネルで公開 ※YouTube で検索 [hungerzero]	
滋賀	滋賀 【オンラインのみ】	077-579-3308	公開開始~ 10/16(土) 11月末迄	約60分	講演動画：ハンガーゼロ田村治郎 現地活動の報告動画：HOLPFI、ボリビア ゴスペル音楽	在日大韓基督教京都教会 ※入場は最大70人まで YouTube でライブ配信もあります	
京都	京都 【ライブ配信有】	075-311-5051	10/10(日)	15:00	現地報告：HOLPFI 酒井保・慶子 子ども食堂紹介 (京都南部教会 許伯基牧師) 音楽 (アンサンブルメゾン)	大阪シオン教会 YouTube 配信 (同教会チャンネルから) https://www.youtube.com/watch?v=jNmRXkh_300	
大阪	東大阪 【ライブ配信有】	072-964-5144	10/27(水)	19:30	現地報告：コンゴ民主/ジェロム・カセバ 講演動画：ハンガーゼロ田村治郎	芦屋福音教会 ※入場は先着30人まで。 ライブ配信は芦屋福音教会のHP から http://www.ashiyagospel.or.jp	
兵庫	芦屋 【ライブ配信有】	0797-31-2093	10/17(日)	14:00	現地報告：HOLPFI 酒井保・慶子 講演：ハンガーゼロ安達燎平	那覇バプテスト教会 YouTube でライブ配信 https://youtu.be/tt0-mZCn82Q	
沖縄	南部 【ライブ配信有】	098-943-9215	10/10(日)	15:00	講演：ハンガーゼロ田村治郎 音楽：沖縄アンバサダー 前田進一郎、Saki オープニング・エンディングアクト (シエパース&隣人キリスト教会バンド&ハンガーゼロ田村)	名護バプテスト教会 YouTube でライブ配信 https://youtu.be/8n_OaPvxbe8	
			10/15(金)	19:30	講演：ハンガーゼロ田村治郎 音楽：沖縄アンバサダー Saki	嘉手納アッセンブリー教会 YouTube でライブ配信 https://youtu.be/ILnNyzhLosg	
			10/17(日)	15:00	講演：ハンガーゼロ田村治郎 音楽：沖縄アンバサダー Saki 音楽：ゴスペル (ガッツ トレジャー/白い家フェローシップチャーチ)	宮古バプテスト教会 YouTube でライブ配信 https://youtu.be/36zX-tTLZOY	
全国	宮古 【ライブ配信有】	098-943-9215	11/14(日)	16:00	講演：ハンガーゼロ田村治郎	FMくめじま FMくめじまの番組内でラジオ配信	
			久米島	098-943-9215	10/13(水)	11:30	FMくめじまの番組内でラジオ配信
全国	全国 【オンラインのみ】	03-3518-0781	10/24(日)	9:30	高校生によるプレゼンテーション大会 (リモートによる学校チーム別対抗)		



Hunger Zero あなたの1食分を世界食料デー募金に ~11カ国のハンガーゼロ支援国での活動に使わせて頂きます~

募金方法は2種
①郵便振替 00170-9-68590
一般財団法人日本国際飢餓対策機構「世界食料デー募金」と明記
②ホームページの世界食料デー特設ページから募金

この他、対象限定などの形で持たれる大会 (浜松、名古屋、南大阪、八尾河南、宝塚、奈良北、奈良南、広島、柳井、関門、鹿児島) については事務局までお問い合わせください。

農業技術の向上など地域住民の取り組みが順調に広がっています

チャイルドサポーター活動は、世界の飢餓や貧困地域に住む子どもたちが健やかに成長できるように、子どもたちを取り巻く環境の改善を図りながら、最終的に地域が貧困から卒業することができることを目指します。現地では、国際飢餓対策機構 (FH) と共に活動をしています。以下サルヘシ集落での活動のハイライトをご報告いたします。

村の現状は…

サルヘシ集落は、ルワンダ南部のルアンゴ郡ムウェンド地区の中にある8つの集落のうちの1つです。サルヘシ集落には5つの村があり、ハンガーゼロはそのうちの3つの村、ガセク村、ガシャル村、ルオンド村で活動をしています。これらの3つの村には577世帯、男性1,188人、女性1,219人計2,407人が住んでいます。サルヘシ集落の人々は、バナナ、豆、キャッサバ、サツマイモ、トウモロコシなどを作って自給自足していますが、農業技術の欠如や土壌の侵食によって作物の生産量は僅かです。また牛、ヤギ、豚、鶏、ウサギなどを飼育しています。FHはこの地域で主に健康、教育、生計、災害リスク軽減などの活動を実施しています。

100名を超える男女が家庭菜園を体験学習中

【農業部門】

各家庭が農業技術を改善し安定した食料を得られるように、FHは農業従事者に対して農業技術の訓練を実施しました。計100人がトレーニングを受けその内7人が教えられた改良型農業を実践することができました。

家庭の栄養改善の取り組みとしてバランスの取れた食事



の大切さを伝え、家庭菜園に取り組めるように、ピートルート、ほうれん草、ニンジン、タマネギの種子18kgを300世帯に支給しました。この6カ月の間に、女性74人と男性30人を含む104人が、家庭菜園の訓練に参加し、健康改善に野菜の摂取が重要であることを認識し、107カ所で家庭菜園を開始することができました。また80世帯の貧困家庭に鍬、ジョウロが支給されました。さらに持続可能で栄養バランスの取れた食事を摂ることができるよう、250世帯にマンゴーとアボカドの苗木各500本が配布され、順調に成長しています。

その他1,040本のバナナの苗木を52世帯に支給、栽培方法を改良して生産量を上げることが期待されています。

また土壌侵食の問題に取り組むために、229世帯に計2,041本の森林用の苗木が渡され、これによって適切な土壌管理を図りながら農産物の生産増を目指していきます。

【家畜部門】

75世帯に家畜の飼育方法や管理についての訓練を行い、これまでに91人が豚とヤギの飼育方法を学びました。

課題は…

地域住民が取り組もうとしている農業技術の改善については、これまでに行ってきた伝統的な農法と新しい農業技術の違いを人々が実感することが重要で、細かな観察が必要です。地域の収入源を増やすためには、農畜以外の活動に取り組む必要もあります。そのため若者グループは地産の石鹼作りを始めました。

お金の管理の実践

【貯蓄グループ】

貯蓄グループによる貯蓄と貸付活動を通して、住民が互いに支え合いながら小規模事業を起すことで自らの必要を満たしていけるようになります。地域ではすでに3つの貯蓄グループが形成され、お金を安全に保管するために、各グループに金庫、台帳、出納帳、南京錠が提供されました。

保健

保健活動では、バランスの取れた食事や野菜を摂取することの重要性についての啓発がなされ、人々の意識が高まって栄養状態の改善が見られました。家庭菜園の実施もそれを後押ししています。

教育

貧困家庭の教育の質を向上させるためには、子どもたちが継続して学校に通うことが必要です。学用品が買えないという理由で親が学校に行かせないことを防ぐために、サポートチャイルド100名

にノート930冊、ペン996本、算数セット11セットの支援を行いました。これによってさらに2人の子どもが学校に通うようになりました。



家族のStory

サポートチャイルドのレイチェルさんと家族 父親の意識改革で家族の栄養が改善

FH= 国際飢餓対策機構

セバサザ家の娘レイチェルさんはチャイルドサポーター活動に登録されて、両親と姉、妹の5人の家族です。一家が野菜の栽培に取り組み、どのように栄養改善を図ることができたかをご紹介します。

● 以前の家族の状態

2年前、一家に急性栄養不良の症状が現れていました。家族は野菜をめったに食べることがなく栄養のバランスが偏っていたのです。野菜を育てる方法について十分な知識を持たず、子どもたちは野菜不足による栄養不良に苦しんでいました。

当時のことを父親は「子どもたちは病気がちだったため、近所の人に毒を混入されているのではないかと疑っていました。私たち夫婦は子どもの健康が気がかりで、子どもたちの将来には希望がないと思っていました」。そのようなセバサザ家がある日FHスタッフが訪れ、子どもたちを観察して子どもたちが栄養不良に陥っていることを告げました。そして、両親にバランスの取れた食事や必要な食べ物について説明をしました。

「子どもたちの生活が以前と大きく変わりました」

父親のエリアさんは、FHがサルヘシ集落で活動を開始した2020年からFHの活動に参加しました。娘のレイチェルさんもチャイルドサポーターに登録されました。エリアさんは、農業研修を受け、バランスの取れた食事について

学び、家庭菜園など、さまざまな活動に参加しました。

● 父親の変化

父親は子どもたちの健康問題が、食事であったことを理解し、栄養のバランスが取れた食事について学んだ後、実践することにしました。FHが野菜の種を提供してくれたことを父親はとても感謝し、「食事についての考え方が変わりました。以前は肉だけを食えば他の食べ物はそんなに重要ではないと思っていました。野菜の重要性を軽視していました」と言っています。「家族は今、とても幸せです。子どもたちの生活が以前と大きく変わったからです。この地域にFHを送ってくれた神様に感謝します。FHが家族の健康のために地域の人たちを助けてくれているからです。」

● レイチェルさんの家族からのメッセージ

FHの支援によって得られた知識と方法をもとに野菜の栽培を拡大し、子どもたちの栄養不良をなくすだけでなく、家計の収入向上を図りたいと思います。また近所の人たちにも分かち合っていきたいです。私たちの地域を支援し、私たちの必要に対して解決方法を提供してくれて、地域の発展に貢献してくれているFHルワンダに感謝します。

子どものチャイルドサポーターを募集中

お申し込みはホームページ又は事務局

Tel: 0729-920-2226 までどうぞ。



私たちロングライフグループは、 ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty
ロングライフグループ
0120-550-294
受付時間 9:00~18:00 年中無休
大阪本社/〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社/〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)